

小宮山弘道編  
啓蒙博物學

四

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄第	號
自然科學	門
植物學	部
植物學	目
全	冊ノ内第
分類第	號
460.0	

校學範師岡福

書門物博

部般一

冊

5冊ノ内

024203

T 1A1  
46  
Ko 65

雙子葉單瓣花植物類

第一菊科

草本植物ナリ、葉ハ互生、或ハ對生ス、花ハ細小ノ多數相集マリテ、小華頭ヲナシ、萼苞ニ

菊



啓蒙博物學卷四

小宮山弘道 編

雙子葉單瓣花植物類

菊科

名稱 菊

部分 莖、叢生尺餘ニ達ス、○葉、莖圍ニ

遍ク發葉ス、全邊大ナル鋸刺アリ、色

深翠或ハ淡緑アリ、○花、黃白赤等ノ

種アリ、葉腋ヨリ、花梗ヲ出シ、其頭ニ

圓包セラル、其形圓板

形或ハ放線狀ニシテ

偏性ナリ、花冠ハ管狀

小花或ハ舌頭小花ナ

リ、雄蕊ハ五個ニシテ、

蕊柱ヲ圍擁スル粉囊

ヲ具ス、實礎ハ下立果

實ハ多ク萼縁ヨリ生

スル果毛ヲ戴キ、單子

ナリ、種子ハ胚乳ヲ有

セズ、子芽ハ直生ナリ、

攢簇開綻ス、

性質 隨處ニ生育ス、格別ニ培養スレ

バ、大輪ノ花ヲ開ク者アリ

種類 夏日開花スル者アリ、秋期開花

スル者アリ、冬季雪霜ヲ侵シテ、開ク

者ヲ寒菊ト云フ、

効用 此植物ハ庭園ニ植エ、人意ヲ樂

マシム、又、一種ノ料理菊ナル者ハ其

花黄ナリ、酢浸シトシテ、啖フベシ、

名稱 艾

艾



部分 莖直生ニシテ、高サ、四五尺ニ達

ス、外皮白色ヲ爲ス、○葉、缺刻深クシ

テ、殆ト鰭狀ヲ爲ス、面青ク、背白シ、○

花、七八月、葉間ニ穗ヲ出シ、細花攢簇

ス、○實、嬰粟子粒ニ似タリ、累々穗ニ

盈ツ、

性質 宿根ニシテ、溫暖ノ山野ニ自生

ス、

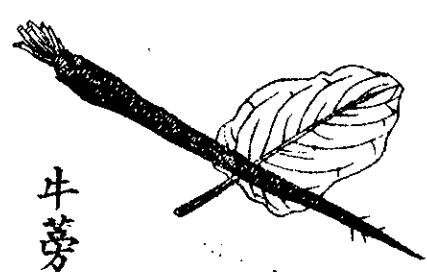
種類 白蒿、牡蒿、野艾、蒿、茵陳蒿、葉蒿等

種類甚タ多シ、

溫帶地産ノ植物ナリ、  
蒲公英、紫菀、迎陽葵、艾、  
鼠麴草、大吳風、菊、燕麥、  
草、鷄頭草、金盞草、牛蒡、  
ノ種属、此ニ属ス、

第二齒草科

草本ニシテ葉ハ茶筴  
生ヲナシ花ハ正形ニ  
シテ多クハ兩性ナリ



牛蒡

實礎ハ下立シ果實ハ  
二子ヲ有スル裂果ナ

**効用** 春日嫩葉ヲ摘ミ米粉ニ和シテ

草餅トナシ之ヲ啖フ又夏至ノ候葉  
ヲ刈リ採リ暴乾シテ艾ヲ製ス

**名稱** 牛蒡

**部分** 莖叢生シ長キモノハ三四尺ニ

至ル○葉大キク欸冬ニ類シ葉頭長  
ク鈍尖ナリ○花淡紫色莖頭ニ分レ

開ク○實細刺ヲ被ル一梗ニ多ク攢  
簇ス而シテ一株ニ子アル數十顆ナ

リ根直生ニシテ處々ニ細根ヲ生ス

リ種子ハ胚乳ヲ有シ  
曲生小芽ヲ有ス  
苗艸猪殃々幾那珈琲  
根根子ノ種族此科  
ニ屬ス

第三茄科

苗艸



長キ者ハ三尺ニ至ル

**性質** 澱層土ニ適ス栽培植物ニシテ

自然生ニハ非ス

**効用** 根ハ煮テ食スベシ

苗艸科

**名稱** 苗草

**部分** 莖方ニシテ毛刺アリ中空ナリ

○根細條多ク簇リ黃赤色ナリ○葉

四々相對ス卵圓ニシテ鋸齒ナシ○

花秋日藤梢ニ開キ大穂ヲナス淡黃

草本或ハ木本ナリ葉ハ互生ス、花ハ兩性ニシテ多クハ正形ヲナシ、五蕊ヲ有ス、果實ハ上立性、二房或ハ四房



梔子

白色ナリ、○枝枝又甚タ多シ、○實圓形、大サ二分許ナリ

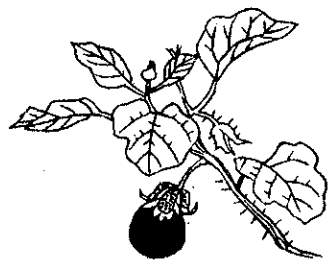
性質 山野ニ自生スル蔓艸ナリ、今農人播種シテ之ヲ收ム、

効用 根ヲ以テ染料ヲ製シ、絳ヲ染ム、

名稱 梔子

部分 幹叢生七八尺ニ達ス、○枝枝柯多ク容生ス、○葉兔ノ耳ノ如シ、春榮ヘ秋枯ル、○花白色、瓣厚クシテ香アリ、黃蕊アリ、○實樞實ノ如ク、稍長大

ノ漿果、若シクハ覆果ニシテ、多子ヲ有ス、種子ハ胚乳及ビ曲生小芽ヲ有ス、  
茄、莨菪、曼陀羅、華、煙、艸



茄

茄科

効用 實ヲ以テ、顔料染料トス、

性質 灌木ナリ、卑濕ノ地ニ適ス、

ナリ、堅ニ七八稜アリ、色、緑熟スレバ黃ナリ、肉紅ニシテ子白シ、

名稱 茄

部分 莖高サ尺餘ニシテ、枝四方ニ蔓散ス、小枝多シ、○葉大キク楕圓ニシテ、頭尖リ、脈理深紫色ヲナス、○花淡紫色ニシテ、枝又ニ開ク、○實種類ニ

酸醬番椒ノ種族皆此科ニ屬ス、

第四唇形科

灌木若シクハ亞灌木、又ハ草本ニシテ莖ハ四稜ヲ爲シ葉ハ十字形ヲ爲ス、通常芳香アリテ、揮發油ヲ含有ス、花冠ハ五數ニシテ二唇ヲ具ス、雄蕊ハ四

由テ扁圓形アリ、長橢圓形アリ、細長形アリ、其色紺紫、白、黃等アリ、肉白ク種子多シ

性質 溫暖輕地ノ耕種植物ナレバ栽培方ヲ得レバ、到ル處生育セサルハナシ

種類 番茄、紫茄、水茄アリ

効用 實ハ煮或ハ塩漬トシテ啖フベク、日常需用ノ植物ナリ

名稱 烟草



烟草

個ニシテ、二長二短ヲ爲シ、或ハ二個ナル者アリ、而シテ實礎ハ上立、果實ハ四分裂、果ナリ

薄而斷續、炒石蚕夏

部分 莖直生、高サ數尺ニ至ル、○葉卵形ニシテ、頭尖リ、長サ二尺餘、幅尺餘アリ、○花莖頭ニ亞梗ヲ出シ、開ク形漏斗ニ似テ五裂ス、色鈍白ニシテ、淡紅暈アリ、○實豆大ニシテ、内ニ小細子多量ヲ容ル

性質 溫暖地方ノ耕種植物ナリ、輕燥土ニ適ス、然レバ栽培能ク至レハ、各處ニ生熟ス

効用 葉ヲ摘採シ、暴乾シテ、細カニ之

杜草紫蘇荊芥麝香  
馬鞭草ノ諸種此科ニ  
屬ス

ヲ刺ミ、吸料トス、又葉莖ハ殺蟲ノ効  
アリ、

唇形科

名稱 薄荷

部分 莖粗、方形ニシテ、赤色ナリ、○葉

對生シ、橢圓ニシテ、頭尖ル、○花葉腋

ニ穗ヲ抽ンテ、小白花ヲ開ク、○根冬

ヲ經テ、枯レズ、

性質 山野ニ自生ス、良質ノ薄荷ヲ得

ントセバ、圃地ニ植エ、培養セザル可



第五玄參科

多クハ草本ニシテ、間

木本ノ者アリ、葉ハ對

生或ハ互生ナリ、花ハ

兩性ニテ、不正形ヲ為

シ、花冠ハ二唇形ヲ有

シ、或ハ咽喉狀ヲ為ス、

雄蕊ハ二個或ハ四個

ナリ、偶々萎縮スル第五

蕊ヲ有シ、或ハ其發育

セザルモノアリ、果實

ハ上立、二房多子ノ覆

名稱 紫蘇

カラズ、

効用 精製薄荷ハ、種々ノ藥効アリト

云フ、

附説 貓薄荷ヲ食ヘバ、則チ酔フ、故ニ、

貓ニ咬ル、キ、其汁ヲ取テ、患所ニ塗

レバ、効アリト、又曰ク、薄荷ハ貓ノ酒

ナリ、又犬虎ノ酒ナリ、桑椹ハ鳩ノ酒

ナリ、苧草ハ魚ノ酒ナリ、皆物相感ジ

テ、酔フナリト、其書ニ見ヘタリ、



紫蘇



含ム

玄參ジキタリス桐兜

児尾苗馬先蒿紫威胡

麻列當ノ種族之ニ属

部分

莖方ニシテ、青緑アリ、紫色アリ、  
○枝四ニ散ズ、○葉圓クシテ、四圍鉅  
齒アリ、而シテ、背面共ニ青緑アリ、或  
ハ面青緑、背紫アリ、皆葉面皺縮ス、○  
花、葉腋ヨリ穂ヲ抽ンデ、小白花或ハ  
小淡赤花ヲ開ク、○實、括囊狀ニシテ、  
罌粟大ノ子ヲ含ム、

性質

自生スル者アリ、圃地ニ播種ス  
ル者アリ、皆格別ノ栽培ヲ要セズシ  
テ、熟ス、

ス



桐

種類

紫蘇ニ青赤、縮緬等ノ種類アリ、  
俗ニ、之ヲ青紫蘇、赤紫蘇、縮緬紫蘇ト  
云フ

効用

赤紫蘇、縮緬紫蘇ハ、汁ヲ榨リテ、  
梅干ヲ染ム、青紫蘇ノ葉ハ、番椒ニ卷  
テ漬物トス、又、實ハ鹽藏シテ、香ノ物  
トナシ、又、油ヲ取ルベシ、

名稱

桐

部分

幹、豐肥ニシテ、挺立ス、中心虚ヲ



雙子葉多瓣花植物類

第二十字科

草本ニシテ葉ハ互生  
シ、屢、翼狀ヲナス、花ハ  
聚傘形ヲ為シ正形ナ  
リ、萼瓣及ビ花瓣ハ各  
四個ニシテ、雄蕊ハ六  
個ヲ有シ、四長二短ヲ  
ナス、實礎ハ上立ニシ  
テ、角果ヲ結ビ種子ハ  
胚乳ナク、曲生ノ小芽

爲ス、○根、旁根長大ナリ、○枝、扶疎ト  
シテ四出ス、中心ノ虛ナル、幹ト相同  
シ、○葉、對生狀チ圓大ニシテ、末、尖ル、  
毛茸アリ、○花、春日開葉ニ先テ綻ブ、  
唇樣筒形、長穗ヲナシ、多花ヲ着ケ、揚  
起ス、其色、淡紫及ビ白ノ二種アリ、○  
實、卵形ニシテ末尖リ、長サ一寸餘、内  
ニ兩房ヲナシテ薄片ノ小子ヲ充ツ、  
性質、高燥ノ地ニ宜シ、良材ト爲ント  
欲セハ、善ク地ヲ撰ムベシ、

ヲ有ス、

葶藶、葛、藍、菜、山、慈、菜、拂  
娘、蒿、薺、菜、芥、薺、臺、薺、服  
太、青、ノ、諸、種、此、科、ニ、屬  
ス、

胡麻



種類

白桐、梧桐、荏桐アリ、

効用

此材ヲ以テ、琴瑟ヲ作レバ、音響

美ナリ、衣匣、書厨ヲ造ルニ、水濕火氣

ヲ防グ、又、机箱、木屐等ニ供セバ、其觀

甚タ美ナリ、而シテ、又、此木炭ハ火藥

ノ用トナル、

名稱

胡麻

部分

莖、方形ニシテ、高サ二尺有餘ニ

至ル、○葉、細長圓形ニシテ、頭尖ル、○

花、葉腋ニ開キ、白色及ビ淡紫アリ、○

第二睡蓮科

水草ニシテ、球根莖及  
ビ長柄アル浮葉ヲ有  
ス、花ハ巨大ニシテ正  
形ナリ、雄蕊ハ頗ル多  
ク、實礎ハ上立シ、大ナ  
ル放線狀ノ柱頭ヲ有  
ス、果實ハ多房ニシテ  
種子ハ隔ニ附着シ、二  
重ノ胚乳ヲ含有ス  
睡蓮、萍蓬、蓮ノ種族

實、外殼莖ト相同シク、形六稜ニシテ、  
熟スレハ二裂シ、子數多ヲ出ス、

(性質) 土質ニ論ナク、栽培方ヲ得レバ、

收穫ヲ期スベシ、

(種類) 白胡麻、黑胡麻ノ別アリ、

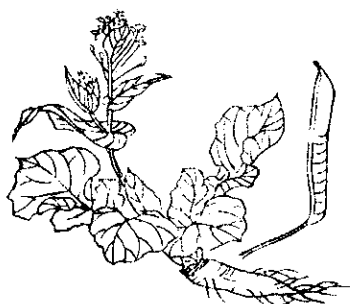
(効用) 二種共ニ子ハ煎テ、以テ香料ト

スベク、又、搾テ油トシ、食用又ハ燈火

ノ用ニ供スベシ、

雙子葉多瓣花植物類

薔薇



十字科

名稱 薔薇

部分 莖、初メ叢生ナリ、春月黃熟ノ候、

莖ヲ抽テ、數尺ニ至ル、○枝黃熟ノ節、

莖頭ニ枝柯多シ、○葉缺刻アリテ、周

邊不齊ノ鉅齒アリ、○花黃色、四瓣十

字形ナリ、○實、莢ニシテ細扁ナリ、始

メ青ク、熟スレバ黃ナリ、一莢數十子

ヲ含有ス、

(性質) 溫暖濡濕ノ地ニ適ス、秋分ニ播

皆此科ニ屬ス、  
第三毛茛科

艸本或ハ蔓生灌木ニ  
シテ、葉ハ互生シ、手狀

或ハ繖狀ニ分裂スル  
モノ多シ花ハ正形或  
ハ不正形萼ハ屢花辦  
様ニ色ヲ呈シ而シテ  
辦ハ間密槽ニ變シ或



萊菔

種シ春日莖ヲ抽シテ黄花ヲ開キ後  
チ子ヲ結ス

**効用** 種子ハ搾テ油トナス即チ夜間  
點スル所ノ燈油是レナリ其熟スル  
ノ前ハ葉ヲ啖フベシ

**名稱** 萊菔又蘿蔔

**部分** 莖叢生春日莖ヲ抽シテ淡紫花  
ヲ開キ又枝ヲ生ス○葉互生硬クシ  
テ細刺毛アリ○根肥大白色味最モ  
佳ナリ實莢莖ニ似テ莢子共ニ大ナ

ハ欽如スルコアリ雄  
莖ハ軸立ニシテ許多  
ナリ雌莖圓即チ果辦  
ハ多數ノ莖柱ヲ有シ  
果實ハ單子或ハ多子



大青

リ

**性質** 溫地適當ノ耕種物ナレバ栽培  
方法宜キニ應ジ現今處トシテ收穫  
セザルハナシ

**種類** 櫻島大根法領大根宮重細根等  
種々アリ

**効用** 澤庵漬トナシ又煮テ食ス日常  
需用甚タ大ナリ

**名稱** 大青又藍

**部分** 莖叢生ニテ關節アリ熟スレバ

ヲ有ス多クハ乾膜狀  
ニシテ肉質ノモノ罕  
レナリ而シテ種子ハ  
胚乳及ビ直生小芽ヲ  
含ム  
大蓼白頭翁側金盞花  
カラマツサウ毛茛  
シコウサウ樓斗菜烏  
頭芍藥ハ種族之ニ隸  
ス

赤色ヲ帶ブ○葉細長圓形ニシテ深  
綠色ナリ○花莖頭ニ穗ヲ抽ンデ小  
紅花ヲ攢簇ス○實殼生ニシテ細小  
ノ一子ヲ含ム

(性質) 卑濕ノ地ニ適スレド今ハ處ト

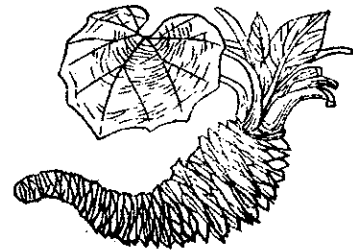
レテ此植物ノ栽植ヲ見ザルナシ

(種類) 水藍陸藍ノ二種アリ

(効用) 此植物ノ葉ヲ以テ藍ヲ製ス染  
料ニ顔料ニ其用甚タ大ナリ

(名稱) 山箭菜

山箭菜



第四伏牛花科

多クハ灌木ニシテ葉  
ハ互生シ花ハ正形ニ  
シテ聚傘形ヲナシ花

(部分) 莖叢生シテ細ク圓シ○葉圓形

ニシテ縁邊ニ不齊ノ微齒アリ○根

多節ニシテ外皮ニ皺多シ色淡青鬚

根ヲ生ズ○花莖頭ニ開ク白色小花

ナリ

(性質) 深山幽谷ニ生ズ

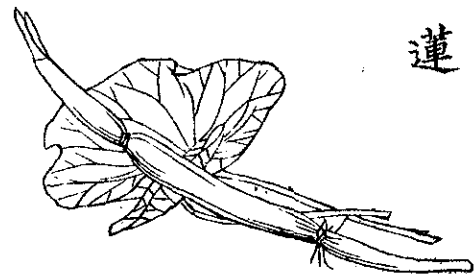
(効用) 葉及ビ莖ハ酢ニ浸シ或ハ糟藏

シテ啖フベシ根ハ擦碎シテ魚膾ニ

和シ食フ其他香料ニ用フ

睡蓮科

蓮



辨圖ハ萼辨圖ノ前ニ  
位シ雄蕊モ亦花辨前  
ニ位ス果實ハ上立性  
ニシテ單房ヲナシ漿

名稱 蓮

部分 莖圓クシテ長ク周圍ニ刺樣ノ

モノアリ○葉圓大ナリ形テ宛モ笠

ノ如シ○根旁行シテ長ク丈餘ニ至

ルモノアリ處々ニ節アリ内部ニ巨

多ノ圓孔貫通ス○花巨大ニシテ美

麗ナリ白蓮紅蓮アリ○實外殼蜂巢

ニ似タリ内ニ多子ヲ含有ス

性質 沼泥中ニ生ス

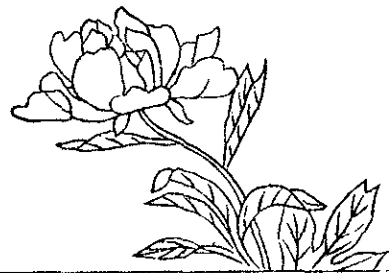
効用 根ハ藕ト名ツケ食用トス上饌

果式ハ覆果ナリ種子

ハ胚乳及ビ直生小芽

ヲ有ス

伏牛花、淫羊藿、南天、燭



芍藥

ニ供スベシ

毛茛科

名稱 芍藥

部分 莖叢生シ高サ尺餘アリ色青キ

アリ淡赤アリ○葉互生シ複三指葉

ニシテ各個細長楮圓皆末尖ル○花

巨大ニシテ容焯約タリ色紅白等ア

リ○實殼中ニ數子アリ牽牛花ノ子

ニ似テ小サシ

性質 隨處ニ植エ栽培ニカヲ盡セバ

ルイエフボタンノ種

属皆之ニ隸ス

嬋娟タル美花ヲ開ク

〔効用〕庭園ニ植ウレバ、人意ヲ慰ム、又

根ハ藥効アリト云フ、

烏頭

〔名稱〕烏頭又雙鸞菊

〔部分〕莖叢生ニシテ、細ク、長サ、七八寸

ニ至ル、○葉互生ニシテ、菊葉ニ似テ、

小サク、色濃緑ナリ、○花莖頭ニ開キ、

形チ、烏帽子ニ似タリ、色深碧ナリ、

〔性質〕毒艸ナリ、觸ルベカラズ、

伏牛花科

第五葡萄科

蔓生灌木ニシテ、葉ハ



〔名稱〕南天燭

〔部分〕幹叢生直立ナリ、數十年ヲ經レ

バ、大株トナリ、高サ丈餘ニ達ス、○葉

三翼葉ナリ、皆對生ス、○花梅雨ノ候

穗ヲ抽ンデ、白小花ヲ攢簇ス、○實豆

大ニシテ、初メ青シ、熟スレバ赤色ト

ナル、中ニ一子ヲ保有ス、

〔性質〕幽邃ノ場所ニ適ス、

〔効用〕庭園ニ植ウ、大ナル者ハ頗ル壯

觀ナリ、

南天



手狀ノ脈絡ヲ具ヘ、蔓

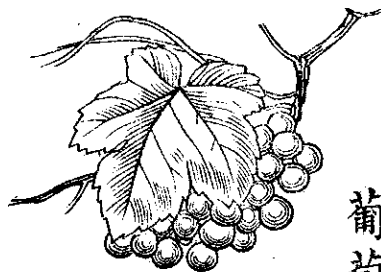
鬚アリテ、葉ニ對生ス、

花ハ正形ニシテ、五數

ナリ、實礎ハ上立性多

房ナリ、果實ハ微小ノ

葡萄



種子ヲ有シ漿果ナリ  
種子ハ胚乳ヲ有ス  
葡萄、蘗、蔓、種族此科  
ニ屬ス

第六芸香科

葡萄科

名稱 葡萄

部分 幹、蔓生ニシテ孤立セズ、或ハ地ニ這ヒ、或ハ樹木ニ倚ル、枝柯四散シ、著ルク蔓延ス。○葉大ニシテ、圓ニ欽刺アリ、手狀ヲナス。○花、春日穂ヲ抽ンデ、小花ヲ攢簇ス、黄白色ナリ。○實、花後ニ連着シ、青珠ノ相聚マルガ如シ、熟スレバ紫又ハ鈍白トナル、中ニ小子若干ヲ含ム。

艸本、若シクハ灌木ナリ、屢、複性葉ヲ具ヘ、花ハ正形、若シクハ不正形ニシテ、四數若シクハ五數ナリ、雄蕊ハ八個、或ハ十個ニシテ、腺體ヨリ成レル、輪上ニ位ス、而シテ、果實ハ上立性多房ノ覆果ナリ、芸香白、蘇、黄、蘗、秦、椒、常山ノ種族之ニ隸ス。

性質 山谷ノ中、亦自生スト、雖モ、暖地ニ宜シ。

種類 紫葡萄、水晶葡萄、綠葡萄等アリ。

効用 實、甘味、啖フヘシ、又、ジャム、パン、

赤白葡萄酒、ブランデー、酒ノ類ヲ製ス。

附説 佛蘭西、意大利國ノ某地方ハ葡萄栽培ニ能ク適シ、一地方全ク葡萄ニ由テ、繁昌スルモノ、彼此ニコレア

リト、現ニ舶載スル所ノ葡萄酒類ハ、



第七金絲桃科

草本或ハ灌木ニシテ

概シテ佛國ヨリス

芸香科

名稱 黄蘗又蘗木

黄蘗



葉ハ對生又ハ茶筌生  
ナリ、花ハ正形ニシテ

部分 幹、老大ナル者ハ、高サ三四丈圍、  
五六尺ニ至ル。○枝、太クレテ、長シ。○  
葉、複葉ニシテ、一葉ノ形、橢圓頭尖ル、  
大サ寸餘アリ、面、緑背、白ク、微毛ヲ生  
ジ、截テ嗅ゲバ、臭アリ。○花、夏月、細キ  
黄花ヲ開ク。○實、形圓ニシテ、大サ南  
天燭子ノ如シ、縱ニ五稜アリ、熟セバ

聚傘形ヲナス、花瓣ハ

倍蕾中ニアリテ、轉換

シ、雄蕊ハ一乃至多束

ヲ爲ス、實、礎ハ上立性

ニシテ、單房又ハ多房

色黒ク、味苦シ、

性質 寒地深山ニ生ジ、微シク濕氣ア

ル地ニ適ス、

効用 孟、孟木孟ヲ鋸作ス、觀甚タ美ナ

リ、皮ハ染料トナシ、黄色ヲ染ム、又、藥

効アリ、黄蘗ノ粉ト稱スルモノ、是レ

ナリ、

金絲桃科

名稱 山茶又椿

山茶



部分 幹、直立シ、老大ナル者ハ、高サ、三

ナリ、種子ハ胚乳ヲ有  
セズ、  
金絲桃、山茶、茶ノ種族  
之ニ屬ス、

第八錦葵科

草本或ハ灌木、若シク  
ハ喬木ナリ、葉ハ互生  
シテ、手狀ノ脈絡ヲ有  
シ、且分裂ス、花ハ巨大  
ニシテ正形ナリ、萼ハ  
外萼ヲ具ヘ、花瓣、落

四丈圍、二三尺ニ及フ、然レ氏、幹、曲レ  
ルモノ多シ、○枝、偃蹇シテ能ク茂ル、  
○葉、橢圓形、頭尖リ、鋸齒アリ、長サ二  
寸許、厚クシテ、滑澤ナリ、○花、春初開  
花ス、尋常山ニ生ズル者ハ、大サ二寸  
許、五瓣ニシテ、色、赤シト雖モ、花ヲ賞  
觀スル種類ニアリテハ、紅、白、斑、彪等  
アリテ、花亦頗ル大ナル者アリ、○實、  
外殼四分ニシテ、二三ノ核子ヲ含ム、  
色、暗褐ニシテ、光澤アリ、

當中ニ於テ、轉換シ基

性質

南方暖地ニ生茂シ、北方寒地ニ

底ニ於テ、一束雄蕊ト

適セス、

癒合ス、果實ハ上立ニ

効用

凡ソ堅硬ト美觀トヲ要スル諸

シテ、環圈生ノ果、瓣ニ  
造成セラル、種子ハ

器ハ、此材ヲ以テ造ルベシ、核子ハ搾  
シテ油ヲ取ル、所用甚タ廣シ、

茶

名稱

茶

部分

幹、叢生シ、高サ、丈餘ニ達スト雖



モ、常ニ栽植スル者ハ、截切シテ數尺  
トナス、○枝、密生繁稠シ、幹ヲ隱藏ス、  
○葉、山茶ニ似テ、小サシ、○花、寒ヲ侵

胚乳及ヒ直生小芽ヲ有ス、

錦葵、蜀葵、草綿、木芙蓉、苘麻ノ種族之ニ屬ス、

第九橙橘科

常緑性ノ喬木ニシテ、

草綿



シテ開キ、白色ニシテ、蒂長ク下垂ス、

○實、山茶ニ似テ、小ナリ、

(性質) 暖地ノ植物ナリ、寒冽卑濕ノ地ニ適セズ、

(効用) 春日嫩葉ヲ摘ミ、蒸焙シテ飲料トス、需用甚タ多シ、内國ハ勿論、歐米

諸國ニ輸出ス、

錦葵科

名稱 草綿

部分 莖高サ二三尺ニ達ス、○枝細柯

揮發油ニ富ミ、葉ハ互

生ナリ、雄蕊ハ許多ニ

シテ、多束ヲナシ、腺性

圓板狀體ノ上ニ位ス、

果實ハ上立性漿果ニ

シテ、各房津液ヲ充滿

シ、種子ハ胚乳ヲ有セ

ス、

橙橘ノ屬皆之ニ隸ス、

第十槭樹科

喬木ニシテ、葉ハ互生

四ニ散出ス、○葉大ニシテ、圍ニ欽刺

アリ、○夏日葉間ニ花ヲ開ク、五瓣ニ

シテ、淡黃色ナリ、○實、桃子ノ如シ、故

ニ俗之ヲ桃ト名ヅク、熟スレバ綿ヲ

吐ク、純白ナリ、中ニ核子ヲ含ム、

(性質) 暖地輕燥ノ土ニ適シ、寒地陰濕

ノ土ニ適セズ、

(効用) 衣服料百般ノ用ニ應ズ、誠ニ有

益ノ植物ナリ、

名稱 苘麻

荷



花正形ニシテ、葉多  
性或ハ偏性ニ屬シ、雄  
蕊ハ肉様ノ扁圓体上  
ニ位シ、實礎ハ上立性  
ニ房ナリ、果實ハ二子

部分 莖高サ五六尺ニ達ス、○葉圓形

ニシテ、頭尖リ、鋸齒アリ、桐葉ニ似テ、

薄軟ナリ、毛ヲ生ズ、○花、葉間ニ五瓣

黃色ノ花ヲ開ク、朝ニ開キ、暮ニ衰フ、

○實、扁莢多ク聚ル、外部ニ稜條アリ、

中ニ黑色ノ子ヲ含ム、

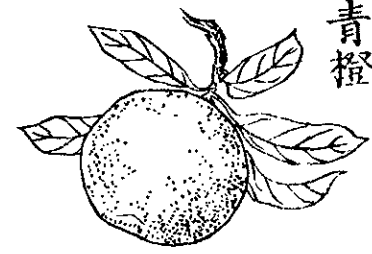
性質 隨處栽培シテ、成熟ス、

効用 莖皮纖維質ナルヲ以テ、必須ナ

ル綱繩ノ類ヲ造ルベシ、

柑橘科

回青橙



裂果ニシテ、種子ハ胚  
乳ナク、曲生小葉、及ヒ  
屈折子葉ヲ有ス、  
槭樹ノ種族之ニ屬ス、  
第十一七葉樹科  
喬木ニシテ、互生手狀

名稱 回青橙

部分 幹老ナナル者ハ高サ丈餘周リ、

尺ニ過グ、嫩樹ハ刺アリ、○枝、小ニシ

テ、頗ル密ナリ、○葉、細長圓形ニシテ、

大キク、基底ニ缺刻アリ、○花、夏日小

白花ヲ開ク、香氣アリ、○實、形圓大初

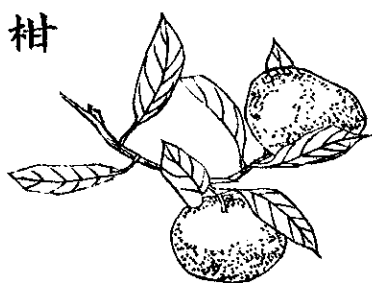
メ青ク、熟スレバ黃色トナル、

性質 温暖地ノ植物ナリ、

効用 實ハ味苦酸、啖フニ堪ヘズト雖

モ、實ノ津液ヲ絞リテ、上等ノ酢ヲ造

ノ複性葉ヲ有シ花ハ不正形ニシテ華部上ニ集合シ實礎ハ上立性多房ナリ果實ハ覆果ニシテ種子長大ナ



ハ又皮ヨリ橙油ヲ製シ藥料トス、  
**附説** 橙實ハ冬期熟シテ黄色トナルト雖モ夏ニ至レバ變シテ青トナル  
 新舊辨ズ可カラズ故ニ俗呼テダイ  
 ダイト云フ、  
**名稱** 柑  
**部分** 幹大ナル者ハ高サ丈餘ニ至ル、  
 ○枝細クシテ容ナリ多ク刺ヲ生ズ、  
 ○葉細長圓形ニシテ周リニ微細ノ  
 凹凸アリ、○花夏日開キ白色ノ小花

リ胚乳ナク癒着子葉ヲ有ス  
 七葉樹ノ種族之ニ隸ス  
 第十二傘形科  
 草本ニシテ葉ハ互生



ナリ、甚タ香シ、○實圓大種類ニ從テ、  
 一樣ナラズ冬ニ至テ黃熟ス、  
**性質** 温暖ノ地ニ適ス、  
**効用** 實啖フベシ味微酸ヲ帶テ美ナ  
 リ、皮ハ陳皮ト稱シ藥効アリ、  
**槭樹科**  
**名稱** 槭樹又楓  
**部分** 幹聳立シテ高サ四五丈圍五七  
 尺ニ及ブ、○枝條柯暢舒シテ小枝翠  
 滑ナリ、○葉五七欽刺尖又ニ鋸齒ア

復生ナリ、鞘上ニ位ス  
 花ハ二重傘形又ハ單  
 傘形ノ華部上ニ集合  
 シ、實礎ハ下立ニシテ  
 莖柱ハ二個ノ基底ヲ  
 有ス、花瓣ハ八裂ニ  
 五個ノ雄蕊ト共ニ萼  
 縁ニ坐ス、果實ハ其熟  
 スルニ當リ、二個ノ小  
 分果ニ分ル、重閉果  
 ナリ、種子ハ胚乳ヲ有

リ、色淡緑、霜ヲ經テ、紅染スルモノアリ、又嫩葉紅色、秋晚紅葉セザルモノアリ、○花開葉ノ節、花梗ヲ生ズ、一梗頭數小楮ヲ分チ、多花アリ、一花ノ大サ四五分、色赤シ、○實翅果ヲ結ビ、二個對生ス、長サ寸許、幅二三分、色紫褐ナリ、

**(性質)** 高山陽燥ノ地ニ適セズ、溪澗水畔ニ繁茂ス、

**(効用)** 屋柱、机案、匣箱ノ類ヲ造テ、木理



七葉樹

ハ直生小芽ヲ含ム、  
 カハゼンゴ、オランダ  
 ミツバ、洋芹、シムラニ  
 シ、シ、小苗香胡蘿蔔、  
 芹ノ諸種之ニ屬ス、

甚タ雅致アリ、又庭園ニ栽エ、人意ヲ慰ス、

七葉樹科

**名稱** 七葉樹又橡

**部分** 幹、直生高ク、聳ヘ、十數丈ニ達ス、

圍亦之ニ準ジテ、太ク、頗ル壯大ナリ、  
 ○枝最モ肥大ニシテ、疎ナリ、○葉手  
 狀ノ複葉ニシテ、闊大ナリ、一柄上ニ  
 七葉ヲ附ク、一葉ノ形倒蛋狀ニシテ、  
 末尖リ、周邊鋸齒アリ、○花、立夏ノ節、

第十三五加科

攀上灌木、若シクハ喬木ナリ、葉ハ互生シ、單一或ハ複生ノ葉ヲ有ス、花ハ單傘形ニシテ五數ナリ、果實ハ下立性多房ノ漿果、或ハ石果ナリ、種子ハ胚乳及ヒ微細ノ小芽ヲ含ム、常春藤、土當歸、人參、金剛纂、種族之ニ屬ス、

葉間ニ穗ヲ出ス、長サ五六寸、白花ヲ開ク、五瓣ニシテ紅暈アリ、大サ四五分ナリ、○實、大サ桃實ノ如ク、初メ綠色、外面ニ小軟刺アリ、秋晚熟シテ黒褐トナリ、三裂シテ、子落ッ、○子、大サ寸許、歪圓形ニシテ、其色、栗子ト相似タリ、

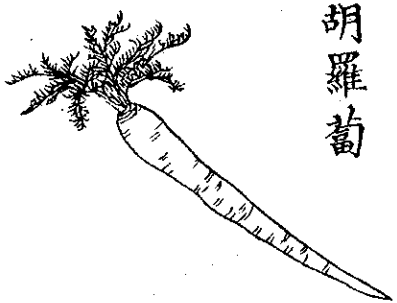
性質

深山中陰濕ノ地ニ生スル者、最モ喬大ナリ、

効用

此木材ヲ以テ、板ヲ作り、門扉ト

胡蘿蔔



ス、  
木本ニシテ、多クハ互生、單一ノ葉ヲ有シ、花ハ正形ニシテ、變、偏性ナリ、雄蕊ハ花瓣前ニ

ナシ、又、机案匣箱ノ類ヲ製スルニ、木質光澤アリ、頗ル雅美ナリ、又、盆、盥、梳等ヲ鍍作シ、漆工ヲ加ヘシモノハ、最モ寶品ナリ、  
核子ハ搗碎シテ、澱粉ヲ製シ、餅ヲ作り、山家ニ以テ、糧食ノ助ケトス、

傘形科

名稱

胡蘿蔔

部分

莖叢生ニシテ、細シ、○葉、互生シ、複性ニシテ、莖頭ニ稠茂ス、○花、小白



於テ萼縁ニ坐シ果實ハ上立或ハ半下立ニシテ多房ノ漿果様若シクハ覆果様ヲナス種子ハ微少、胚乳ト



芹

花相集マリ、傘ノ形ヲナス、○種子略胡麻子ニ似テ、輕小ナリ、○根滑カニシテ、色赤シ又赤黃色、黃白色ノ者アリ、

性質 到ル處耕圃ニ栽培セザルハナシ、

効用 嫩キ時ハ莖根共ニ食フベシ、熟スレバ、唯根ヲ食フ、

名稱 芹

部分 莖圓クシテ中空叢生ス、○葉一

直生小芽ト有ス鼠李、棗、枳、椶、八種族之ニ屬ス、

第十五萌蘆科

艸本ニシテ、莖ハ蔓鬚ヲ有シ、葉ニ手狀ノ脈絡アリ、花ハ正形ニシテ、一家若シクハ二家ヲ爲シ、萼ト花瓣圈ト相癒合ス、而シテ雄蕊ハ一束若シクハ二束

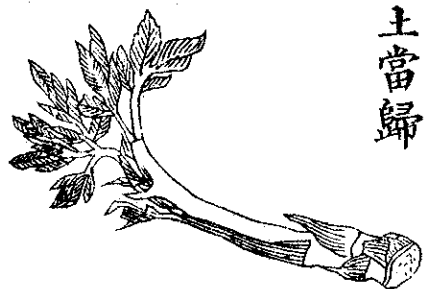
柄ニ三四鰭様ニ附着ス、○花傘形小、白花、簇リ開ク、殊ニ香氣アリ、○種子細小ナリ、○根鬚根簇生シ、香氣アリ、性質 水中ニ栽培シ、長ズルニ從テ、水ヲ加フレバ、莖益長大ス、又陸地ニ作ル者アリ、之ヲ名ヅケテ、オカゼリト謂フ、

効用 葉、莖、根、皆煮テ啖フベシ、

五加科

名稱 土當歸

土當歸



ヲ爲ス、果實ハ下立性ノ漿果ニシテ、内部ハ多液質ノ果肉ヲ充實ス、種子ハ胚乳ヲ有セ

〔部分〕 莖節アリテ、白色紫紅ノ斑アリ、全體短毛ヲ生ス、○葉一柄ニ小葉緒

狀ニ附着ス、一葉ノ形橢圓ニシテ、頭

尖リ、細鋸齒アリ、面ニ短柔毛ヲ生ズ、

○花夏日、小白花ヲ攢簇ス、全形球ノ

如シ、

〔性質〕

山中ニ自生スル者ハ、莖頗ル肥

大トナル、家圃ニ栽培スル者ハ、即チ、

此根ヲ植エテ培養スルナリ、

〔効用〕 嫩莖香氣アリ、煮テ啖フベシ、山

ズ

南瓜、胡瓜、蒟蒻、王瓜、

絲瓜、苦瓜、ノ種族、之ニ

屬ス、

枳椇



生ノ者亦食スベシト雖モ、味耕種セシ者ニ如カズ

鼠李科

名稱 枳椇

〔部分〕 幹喬大ナル者、高サ四五丈、圍五

六尺ニ及ブ、○枝廣ク張り、細枝屈曲

ス、○葉卵形ニシテ、頭尖リ、鋸齒アリ、

○花梗長サ寸餘、屈開シテ三五歧ヲ

ナシ、歧頭毎ニ五瓣白色ハ小花ヲ開

ク、○實花後梗ニ肉ヲ生シ、之ヲ纏フ、

初メ青色霜ニ逢ヘバ紫褐色トナリ、  
味蜜ノ如シ、

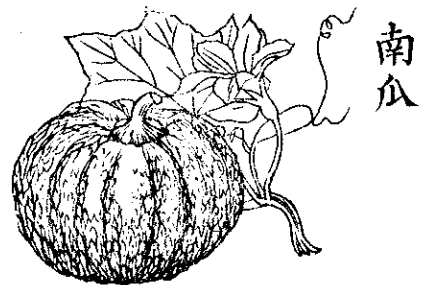
〔性質〕 原野ノ燥土ニ宜シ、深山陰濕ノ  
地ニ産セズ、

〔効用〕 木質ハ机案匣箱又文房ノ具ヲ  
造テ雅致アリ、又盆椀ノ類ニ鍍作ス  
ベシ、實ハ啖フベシ、

葫蘆科

名稱 南瓜

〔部分〕 莖蔓生ニシテ、廣ク蔓リ蔓鬚ヲ



南瓜

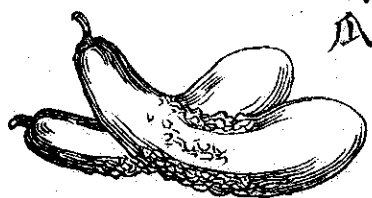
第十六漆科

木本植物ニシテ、華爾  
斯液ヲ有シ、葉互生  
ニシテ、單一、或ハ複性  
ナリ、花ハ正形ニシテ、  
屢偏性ヲ爲シ、花辦ハ  
雄蕊ト互生シテ萼縁  
上ニ位ス、果實ハ上立  
性單子ノ堅殻果、或ハ  
石果ナリ、種子ハ胚乳  
ヲ有セズ、漆樹ノ種

有シ、他ニ倚テ生育ス、全體粗刺毛ヲ  
生ズ、○葉巨大圓ニ大ナル欽刺アリ、  
手狀ノ脉絡ヲ有シ、面ニ粗刺毛ヲ生  
ズ、○花黄色ニシテ、晩夏ニ開ク、○實  
形扁圓ニシテ、幾多ノ稜アリ、初メ青  
ク、熟スレバ黄赤トナル、中心ニワタ  
アリ、無數扁平ノ楔子ヲ附着ス、  
〔性質〕 暖地適當ノ植物ナリト雖モ、栽  
培方ヲ得レハ、隨處ニ成熟ヲ期スベ  
シ、

之ニ属ス

胡瓜



効用 果實ハ煮テ食用トスベシ

名稱 胡瓜

部分 莖恰モ前者ニ似タレ氏軟柔ニ

シテ刺毛尚粗シ○葉亦大同小異緑

色一層優レリ○花前者ニ似テ色淡

久且小サシ○實細長圓筒形ニシテ

外面ニ幾多ノ凸瘤アリ瘤上鋭刺ヲ

生ズ中心ニワタアリ扁圓細小ノ種

子巨多ヲ含ム

性質 現ニ到ル處トシテ之ガ栽植成

第十七石果科

喬木若シクハ灌木ナ

ナリ葉單一ニシテ互

生シ花ハ五形五裂ナ

漆



熟ヲ見ザルナシト雖モ元來溫地ノ

耕種物ナリ

効用 果實ハ或ハ生或ハ鹽藏シテ食

料トス

漆科

名稱 漆

部分 幹直聳ニシテ高サ二三丈圍數

尺ニ達ス○枝肥テ太ク四ニ出ヅ○

葉複葉ニシテ一柄七八葉ヲ排生ス

一葉ノ大サ二寸許皆概シテ長楕圓

リ、花辯及ヒ許多ノ雄  
蕊、萼縁ニ位ス、果實  
ハ胚乳直生、小芽及ヒ  
肥肉様ノ子葉ヲ具有  
ス、  
桃杏梅ノ種族皆此科  
ニ隸ス、

形ナリ、○花、夏、日、穂ヲ抽シテ、小花ヲ  
開ク、色、黄白ナリ、○實、扁圓ニシテ、大  
サ、二三分、外皮、黄茶色ニシテ、光澤アリ、  
肉中一子ヲ有ス、

性質 水涯ニアル者、能ク繁生ス、性濕  
潤ヲ喜ビ、寒地ニ適シ、南方暖地ニ稀  
ナリ、

効用 匣箱及ヒ、鋳作ノ用ニ供シテ、雅  
美ナリ、又、生木ノ皮ニ、鋸疵ヲ與ヘ、樹  
脂ヲ集メテ、漆ヲ製ス、

桃



附説 漆毒アリ、之ヲ畏ル、者、觸ルレ  
バ、必、身體瘡腫ヲ生ス、注意スベシ  
石果科

名稱 桃

部分 幹直聳セズ、四五尺ニシテ、止ム、  
○枝、四ニ出テ、細枝、甚ダ多シ、○葉、披  
針形ニシテ、頭尖リ、周リニ、鋸齒アリ、  
○花、春日開キ、五瓣ノ正花ニシテ、色  
白、紅、淡紅、等アリ、○實、長橢圓形ニシ  
テ、頂尖リ、一方ニ凹處アリ、熟スレバ、

色赤シ○核子肉中ニ在テ、穀ヲ被リ、  
形チ扁圓ニシテ頭尖ル、  
(性質) 濡潤地ニ適シ、乾地ニ宜シカラ  
ス、

(種類) 夏桃、秋桃、西王母、李、桃等アリ、  
(効用) 果實ハ食スベシ、核子ハ藥効アリト云フ

啓蒙博物學卷四

中

明治十七年一月廿八日版權免許  
同年八月出版

定價金三拾貳

編者 静岡縣士族 小宮山弘道

岐阜縣下岐阜西都賀佐町寄留

出版人 東京府士族 原亮策

東京日本橋區本町三丁目十七番地

發兌 市橋龜吉

岐阜韮屋町